

第58回経営協議会議事要録

日 時 平成26年6月25日（金）13時30分～15時40分

会 場 大学本部棟5階 第1会議室

出席者 （委員）

内田、室伏、丸茂、原、角田 各委員

前田学長、川村理事、佐藤理事、新藤理事、田中理事、松川理事、本多財務管理部長
（列席者）

鮎川監事、古井監事、中村総務部長、上野施設・環境部長、大高教学支援部長、
高村企画部長、山田研究支援課長、笹垣人事課長、九鬼財務管理課長、
渡邊医学部学務課長、越石情報支援室長、石原監査室長、
白沢役員支援室（特命事項担当）

議事要録確認

第57回経営協議会（26.3.28開催）の議事要録を確認した。

報告事項

1 教育研究評議会の開催状況について

学長から、第122回、第123回及び第124回教育研究評議会の開催状況について、資料1により報告があった。

2 役員会の開催状況について

学長から、第142回、第143回及び第144回役員会の開催状況について、資料2により報告があった。

3 役員の担当替えについて

学長から、平成26年4月1日付けで役員の担当を一部変更した旨、資料3により報告があった。

4 国立大学法人山梨大学事務の組織に関する規程の一部改正について

松川理事から、企画部の設置及び産学官連携・研究推進部の廃止等に伴う国立大学法人山梨大学事務の組織に関する規程の一部改正について、資料4により報告があった。

5 平成25年度資金運用実績について

本多財務管理部長から、国立大学法人山梨大学資金管理規程第5条に基づき、平成25年度の資金運用の実績について、資料5により報告があった。

6 寄附講座の設置（延長）について

田中理事から、山梨県と締結した「寄附講座の設置に関する協定書」に基づき、次の2つの寄附講座の設置期間を延長した旨、資料6により報告があった。

- ・地域周産期等医療学講座
- ・地域医療臨床研修学講座

7 大学の機能強化について

学長、新藤理事及び川村理事から、大学のガバナンス、研究力及び教育力の機能強化へ向けた方針、計画及び課題等について、当日配付資料により報告があった。

審議事項

1 職員就業関係規則の一部改正等（案）について

松川理事から、年俸制導入に伴う職員就業関係規則の一部改正等（案）について、資料7により説明があり、審議の結果、次のとおり承認した。

（一部改正）

- ・国立大学法人山梨大学職員就業規則

（制定）

- ・国立大学法人山梨大学年俸制適用職員給与規程

2 国立大学法人山梨大学業務方法書の変更（案）について

松川理事から、国立大学法人法の一部改正並びに政府調達に関する協定を改正する議定書の発効に伴う国立大学法人山梨大学業務方法書の変更（案）について、資料8により説明があり、審議の結果、これを承認した。

3 平成25年度決算（案）について

佐藤理事から、平成25年度決算に伴う財務諸表等について、資料9-1から9-4により説明があり、審議の結果、これを承認した。

4 平成27年度概算要求（案）について

佐藤理事から、平成27年度概算要求（特別経費等及び施設整備費）の概要について、資料10-1及び10-2により説明があり、審議の結果、最終案の取りまとめについては学長一任とすることを承認した。

5 山梨大学設備マスタープラン（案）について

佐藤理事から、教育研究設備及び医療設備の整備方針を定めた山梨大学設備マスタープラン（案）について、資料11により説明があり、審議の結果、これを承認した。

6 平成25年度業務実績報告書等（案）について

新藤理事から、平成25年度業務実績報告書等（案）について、資料12-1及び12-2により説明があり、審議の結果、これを承認した。

7 大学機関別認証評価に係る自己評価書（案）について

新藤理事から、大学機関別認証評価に係る自己評価書（案）について、資料13により説明があり、審議の結果、これを承認した。

学外委員からの意見等

報告事項7

大学の機能強化について

(室伏委員)

資料の中に「イノベーション」、「研究マネジメント人材の育成」等をキーワードとして掲載してはいかがでしょうか。

研究そのものを個々の研究者が、ただ進めていくことでは一つの大きな流れにはならないので、どういう研究を進めるのがいいのか、最初の計画の段階から関わり、大学のシーズを上手に集めて新しいものを作ろうと、そういうことができるような人材の育成は重要であると思います。日本にはそういう人材が少ないので。

また、平成24年度に大きな改組をされているので、これが現在の山梨大学の発展、改革の基礎となっている点や大学発ベンチャーの支援といったようなところを、文字を大きくするなどして、もう少し強調して欲しいと思います。

(内田委員)

「発生工学研究開発センター」についてですが、名称に「研究開発」を入れなければならないのか、少し長いように思われるので、研究内容を端的に示すよう、名称の再検討も視野に入れていただきたい。

(原委員)

山梨大学では「燃料電池ナノ材料研究センター」が最先端の研究を行っているが、こういったセンターも今後取り入れていくのか、現状どのような位置付けが分からない部分があるので、このあたりも検討を進めていただきたい。

(学長)

各委員からいただいたご意見を念頭に置きながら、検討したいと思います。

以上